



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
 コード番号 6879 URL <https://www.imagicarobot.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田 真人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 森田 正和

TEL 03-6741-5742

四半期報告書提出予定日 平成30年7月31日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	19,362	8.1	876		839		536	
30年3月期第1四半期	21,073	11.1	644		665		1,641	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 1,083百万円 (%) 30年3月期第1四半期 1,686百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	12.10	
30年3月期第1四半期	36.87	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	65,713	31,046	42.4
30年3月期	70,529	32,978	41.7

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 27,872百万円 30年3月期 29,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				10.00	10.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	93,000	1.8	1,750	27.8	1,650	31.9	1,100	62.5	24.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) 通期の営業利益については、費用としてののれん等償却費約16億円が含まれています。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	44,531,567 株	30年3月期	44,531,567 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	500,108 株	30年3月期	108 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	44,355,635 株	30年3月期1Q	44,531,459 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国を中心として海外経済が回復基調にあることから、輸出や企業の生産・サービス活動が持ち直しました。また個人消費についても、堅調な雇用者所得により回復をしております。

当社グループは、映像ビジネスにおいて幅広い事業展開を行い、グループの総合力を発揮し、収益力及び財務体質を強化することに取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は193億62百万円（前年同四半期比8.1%減）、営業損失は8億76百万円（前年同四半期は営業利益6億44百万円）、経常損失は8億39百万円（前年同四半期は経常利益6億65百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億36百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益16億41百万円）を計上いたしました。

②セグメント別の業績

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

1)映像コンテンツ事業

当第1四半期連結累計期間において、劇場映画作品に加え、映像配信プラットフォーム向けのドラマ作品の売上を計上したものの、劇場アニメーション作品の売上計上が第2四半期に期ズレしたこと等から減収となりました。営業利益については、テレビアニメーション作品の制作受注は堅調に推移しているものの、4月スタートの新シリーズ作品やフルCG作品の制作コストが一時的に増加していることなどから、営業損失を計上いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は46億85百万円（前年同四半期比10.4%減）、営業損失は3億74百万円（前年同四半期は営業利益92百万円）となりました。

2)映像制作サービス事業

テレビアニメーション向けポストプロダクションサービス、デジタルシネマサービスは堅調に推移しているものの、テレビ番組向けポストプロダクションサービスは、テレビ番組の改編等により受注が減少した結果、売上高が減少いたしました。営業利益については、管理部門のコスト削減や設備投資見直しなどを進めているものの、売上減少に伴う粗利益減少を補うことができず、営業損失を計上いたしました。

人材コンサルティング分野においては、人材紹介、業務請負型のゲームCG制作やデバッグサービスが順調に推移しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は62億28百万円（前年同四半期比6.8%減）、営業損失は11百万円（前年同四半期は営業利益3億円）となりました。

3)メディア・ローカライゼーション事業

欧州地域のローカライズサービスは堅調に推移しておりますが、映像配信プラットフォーム向けローカライズサービス案件の受注が当初見通しを大きく下回ったこと、また米州での競争環境が厳しくなっていること等により米州、アジア地域では減収となりました。

営業利益につきましては、売上高減少による粗利益減少に加え、人件費など制作関連コスト増加の影響により減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は58億40百万円（前年同四半期比3.2%減）、営業損失は5億91百万円（前年同四半期は営業損失56百万円）となりました。

なお、当該事業分野の業績につきましては、SDI Media Group, Inc. とその子会社の決算日が12月31日であるため、当第1四半期連結累計期間には平成30年1月1日～平成30年3月31日の3ヶ月間の実績を反映しております。

4) 映像システム事業

プロ用映像機器分野においては、大型案件の納品が第2四半期以降に期ズレしたことにより減収減益となりました。一方イメージング分野の販売やCMオンライン送稿システムの販売は堅調に推移しており、いずれも増収増益となりました。またL S I開発分野においても、引き続き中国向けの映像・画像処理L S I出荷が好調に推移しており、増収増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は29億19百万円（前年同四半期比14.4%減）、営業利益は2億4百万円（前年同四半期比43.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて41億1百万円（10.3%）減少し、355億59百万円となりました。

これは主に、たな卸資産が増加した一方で、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7億14百万円（2.3%）減少し、301億53百万円となりました。

これは主に、投資有価証券が増加した一方で、のれん等が減少したことによるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて48億16百万円（6.8%）減少し、657億13百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて12億99百万円（5.4%）減少し、225億94百万円となりました。

これは主に、未払金及び賞与引当金の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて15億84百万円（11.6%）減少し、120億72百万円となりました。

これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて28億84百万円（7.7%）減少し、346億66百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ19億31百万円（5.9%）減少し、310億46百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上と配当金の支払による利益剰余金の減少、及び自己株式の取得等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の業績予想につきましては、平成30年5月8日に公表した数値を変更しております。詳細につきましては、本日（平成30年7月31日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,131,784	10,449,868
受取手形及び売掛金	18,415,035	13,835,053
たな卸資産	8,031,571	9,149,535
その他	2,142,656	2,175,803
貸倒引当金	△60,010	△50,797
流動資産合計	39,661,037	35,559,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,280,813	13,150,851
減価償却累計額	△9,380,072	△9,435,319
減損損失累計額	△77,124	△71,844
建物及び構築物(純額)	3,823,616	3,643,687
機械装置及び運搬具	12,173,703	12,098,576
減価償却累計額	△11,880,924	△11,805,718
減損損失累計額	△117,358	△117,358
機械装置及び運搬具(純額)	175,420	175,499
土地	2,943,085	2,944,295
リース資産	1,514,492	1,745,661
減価償却累計額	△599,989	△795,545
リース資産(純額)	914,502	950,115
建設仮勘定	99,593	152,043
その他	4,811,696	5,082,354
減価償却累計額	△3,171,570	△3,343,832
減損損失累計額	△7,372	△7,270
その他(純額)	1,632,753	1,731,250
有形固定資産合計	9,588,971	9,596,893
無形固定資産		
ソフトウェア	1,213,321	1,172,612
のれん	7,255,938	6,795,843
その他	5,163,572	4,757,236
無形固定資産合計	13,632,833	12,725,692
投資その他の資産		
投資有価証券	4,436,692	4,552,577
関係会社株式	614,858	629,479
敷金及び保証金	1,167,132	1,173,295
繰延税金資産	1,054,660	1,114,575
その他	488,717	474,081
貸倒引当金	△115,614	△112,998
投資その他の資産合計	7,646,445	7,831,011
固定資産合計	30,868,250	30,153,596
資産合計	70,529,288	65,713,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,788,972	5,271,109
短期借入金	4,982,314	4,940,332
未払金	3,626,139	3,083,921
未払法人税等	711,802	260,757
賞与引当金	1,514,231	753,518
役員等報酬引当金	95,778	41,273
受注損失引当金	63,449	61,528
その他	7,111,729	8,182,084
流動負債合計	23,894,417	22,594,526
固定負債		
長期借入金	8,891,288	7,773,420
長期未払金	601,062	380,646
繰延税金負債	1,011,906	934,939
退職給付に係る負債	1,259,724	1,280,316
その他	1,892,742	1,702,820
固定負債合計	13,656,725	12,072,142
負債合計	37,551,142	34,666,669
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,244,915	3,244,915
資本剰余金	15,190,725	15,190,725
利益剰余金	9,749,118	8,767,173
自己株式	△42	△512,042
株主資本合計	28,184,716	26,690,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,689,371	1,774,361
繰延ヘッジ損益	△388	2,247
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	△433,870	△580,243
退職給付に係る調整累計額	3,942	3,346
その他の包括利益累計額合計	1,241,121	1,181,778
非支配株主持分	3,552,306	3,173,840
純資産合計	32,978,145	31,046,391
負債純資産合計	70,529,288	65,713,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	21,073,526	19,362,044
売上原価	15,186,262	14,615,586
売上総利益	5,887,263	4,746,457
販売費及び一般管理費	5,242,319	5,622,937
営業利益又は営業損失(△)	644,943	△876,479
営業外収益		
受取利息	1,034	673
受取配当金	17,665	15,764
持分法による投資利益	2,704	7,146
為替差益	5,950	42,695
その他	38,886	50,598
営業外収益合計	66,241	116,877
営業外費用		
支払利息	37,729	70,015
その他	8,200	9,980
営業外費用合計	45,930	79,995
経常利益又は経常損失(△)	665,254	△839,597
特別利益		
固定資産売却益	—	1,173
関係会社株式売却益	2,177,929	—
特別利益合計	2,177,929	1,173
特別損失		
固定資産売却損	110	—
固定資産除却損	1,659	3,197
投資有価証券評価損	14,150	47
関係会社貸倒引当金繰入額	34,905	—
移転関連費用	—	18,500
その他	107	—
特別損失合計	50,933	21,744
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,792,250	△860,168
法人税等	1,213,346	33,542
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,578,903	△893,711
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△62,915	△357,081
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,641,818	△536,629

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,578,903	△893,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	306,085	82,852
繰延ヘッジ損益	—	2,635
為替換算調整勘定	△197,355	△275,144
退職給付に係る調整額	△683	△596
その他の包括利益合計	108,046	△190,252
四半期包括利益	1,686,949	△1,083,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,850,389	△595,973
非支配株主に係る四半期包括利益	△163,439	△487,989

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年5月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式500,000株を取得しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が512,000千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が512,042千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ロ ーカライゼー ション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	5,203,521	6,552,363	5,945,154	3,336,189	21,037,228	36,298	21,073,526
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	25,630	132,429	85,920	75,542	319,523	△319,523	—
計	5,229,151	6,684,792	6,031,074	3,411,732	21,356,751	△283,224	21,073,526
セグメント利益 又は損失(△)	92,070	300,494	△56,919	363,236	698,881	△53,937	644,943

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△53,937千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,142,071千円及びセグメント間取引消去△1,196,009千円であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ロ ーカライゼー ション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	4,663,959	6,055,183	5,738,458	2,862,777	19,320,379	41,664	19,362,044
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	21,993	173,607	101,863	56,254	353,720	△353,720	—
計	4,685,953	6,228,791	5,840,322	2,919,032	19,674,099	△312,055	19,362,044
セグメント利益 又は損失(△)	△374,212	△11,914	△591,514	204,968	△772,672	△103,806	△876,479

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△103,806千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,096,368千円及びセグメント間取引消去△1,200,175千円であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。